



下水道構築に向けて

局地的な大雨に対する 下水道管渠内工事等安全対策に関する説明会



(社)全国上下水道コンサルタント協会、(社)日本下水道管路管理業協会と共同で、上記の説明会を12月1日に東京で、12月9日に大阪でそれぞれ開催しました。両会場合わせて900名余りの方々に参加していただきました。基調講演は、弟子丸卓也気象庁気象防災推進室防災気象官が「局地的な大雨に関する気象予測及び気象情報」をテーマに、また松原誠国土交通省下水道部企画専門官が「局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策の手引き(案)」の解説を、芳司俊郎厚生労働省建設安全対策室室長補佐が「下水道管渠内工事における労働災害防止対策」について講演されました。

技術委員会で14テーマを審議



平成20年度第2回技術委員会を12月2日に開催し、新規2テーマ、完了1テーマを含む14テーマについて審議しました。新規の2テーマについては、委員会の冒頭、本機構の石川理事長より松井委員長に諮問が行われ、また審議後は研究が完了した1テーマについて松井委員長から石川理事長に答申が行われました。



平成20年度事業報告会を開催



平成20年度事業報告会を10月27日に東京都内で開催し、平成19年度の事業成果と平成20年度の事業計画について出捐団体および賛助会員に報告しました。また、松井正樹国土交通省下水道部長が「下水道事業の現状と今後の展開」というテーマで、藤木修国土技術政策総合研究所下水道研究部長が「下水道の技術戦略論について」と題して、それぞれ講演いただきました。その後、本機構職員による研究成果報告を行いました。

建設技術審査証明書を交付



平成20年度第2回審査証明委員会を10月29日に開催し、審査証明を受けている管更生工法23技術の「耐震性能の算定に必要な強度特性等」の追加・変更について審議を行いました。また、11月10日には、これらの技術に対する審査証明書の交付式が行われました。
※インフォメーションのコーナーに詳細な情報が掲載されています。



下水道新技術セミナーを開催



「担体利用高度処理技術」をテーマにした第45回（平成20年度第2回）下水道新技術セミナーを11月19日に東京、11月27日に大阪の2会場で開催しました。講演では、重村浩之国土交通省下水道部流域管理官付課長補佐が高度処理を巡る最近の施策などを解説したほか、大河内孝川崎市建設局下水道部経営企画担当課長補佐が同市での導入状況について紹介しました。この後、民間企業4社が発表を行い、両会場合わせて約140名の参加者がありました。